

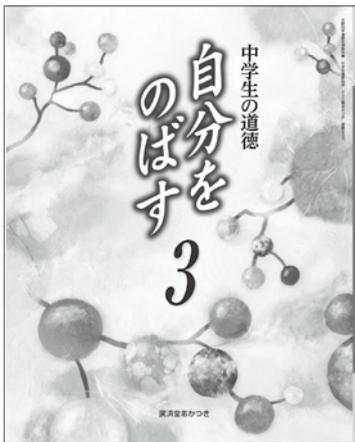
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31 - 14	中学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 907 道徳 908	中学生の道徳 自分をのぼす3 中学生の道徳ノート 自分をのぼす3		

1 編修の基本方針

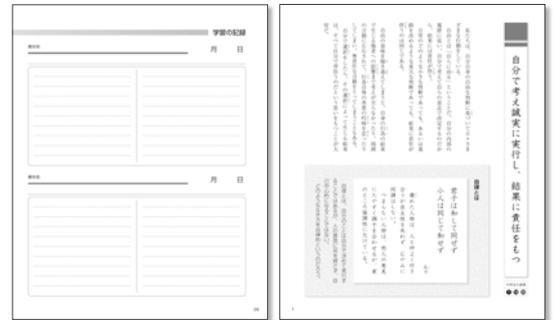
教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するため、本教科書は以下を基本方針として編修しました。



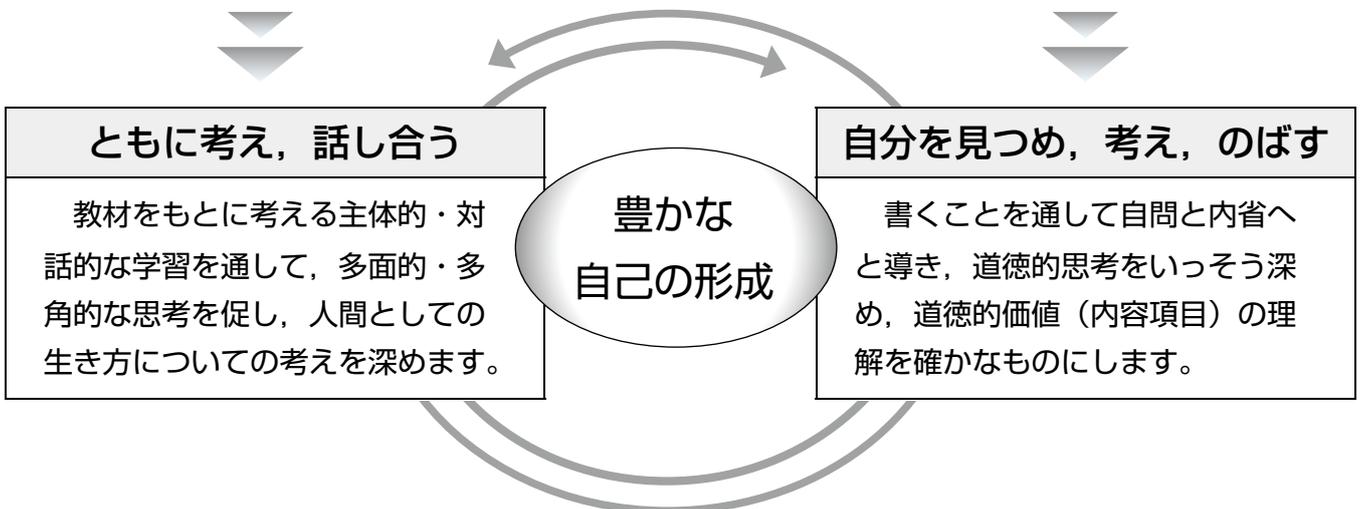
2冊の相乗効果で
新時代を生きる生徒の
豊かな情操と道徳心を
培います



魅力あふれる 35 本の教材



学習の記録・内容項目ページ



本冊 「ともに考え、話し合う」 魅力あふれる 35 時間分の教材

① 「人間のよさ」が心に染みる教材——これまでの道徳が大切にしてきたこと

人間だから悩むことがあり、人間だから苦しむことがある。

人間だからこそ、悪を憎み、正義を愛する心があり、生きる喜びがある。

これまでの道徳が大切にしてきた感動教材、名作教材を中心に、人間のよさや気高さや素晴らしさを感じることのできる教材を精選しました。



【1】リクエスト



【2】二人の弟子

② 現代的な課題と向き合う教材——これからの時代を生きる生徒たちのために

目まぐるしく変化していく現代社会において、自立した人間として他者とともによりよく生きる、そのための基盤となる道徳性を育むことができるよう、現代的課題に目を向ける教材を厳選しました。

特に「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」を重点的に扱えるよう全体を構成しています。

生命尊重

内容項目「生命の尊さ」を年間3時間配当しています。また、それ以外の内容項目でも「生命の尊厳」について考えられる教材を掲載しました。



【5】誰かのために

いじめ防止・人権尊重

いじめを直接的に扱った教材だけでなく、「いじめ」をさまざまな内容項目の学習と関連させながら考える特集を設け、重点的な指導が図れるようにしています。



【8】卒業文集最後の二行

深める

社会の持続可能な発展 【2】虹の国 —ネルソン・マンデラー—



生命倫理【20】ドナー



特集「いじめを許さない私たちの心」

別冊「自分を見つめ、考え、のぼす」ノート別冊のたしかな理由

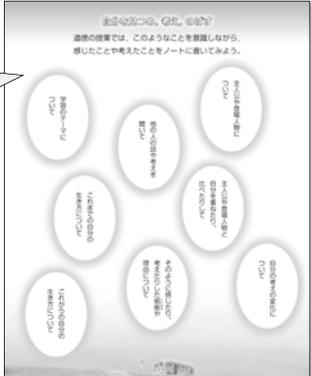
①記述を通して、自己を深く見つめる学習を促します

自分の本音を、なかなか打ち明けてくれない中学生。けれども、心の中では「自分とは何か」「自分はどうか生きるか」という人生の問いに真剣に向き合いながら、迷い、悩んでいる時期でもあります。

人には話しづらい、語りづらいことでも、ノートの活用を通して自分の考えを問い直し、自己を深く見つめることができます。



心のしおり
「自分を見つめ、考え、のぼす」
道徳科で考える視点を示し、記述の際に参照することで、道徳的諸価値の理解をもとに、自己を見つめ、多面的・多角的に考える学習となるよう工夫しました。



学習の記録
授業で考えたことを記述するページです。授業者の構想に応じて書く内容や場面を設定しながら、年間35時間の学習を時系列に沿って記録することができます。

②ノートが「心の記録」になり、生徒の心の成長を実感できます

道徳科における1時間、1時間の学びは「心の成長」の歩みです。別冊ノートにはそれが継続的な記録として形に残ります。

先生方にとっては、生徒の道徳性に係る成長の様子を認め、励ましていく評価の際の、たしかな手がかりとなります。家庭との連携を図って、保護者とともに生徒の成長を見守る際にも大いに役立ちます。

そして何より、生徒自身が、自分の記述を読み返すことで、自らの成長を実感し、豊かな心を育むことにつながります。

心に残っている授業の記録

学期や年間の区切りに活用できる振り返りのページです。どの授業や教材が自分の心に残り、自身の成長につながったのかを見つめます。



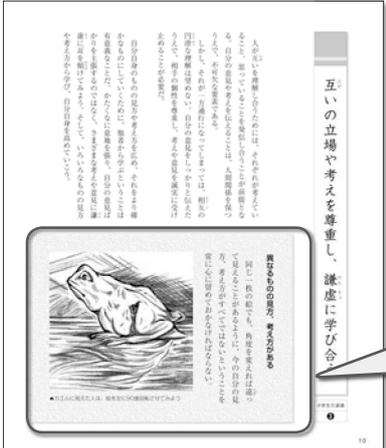
③授業の進め方に応じて、自由に活用できる豊富な資料があります

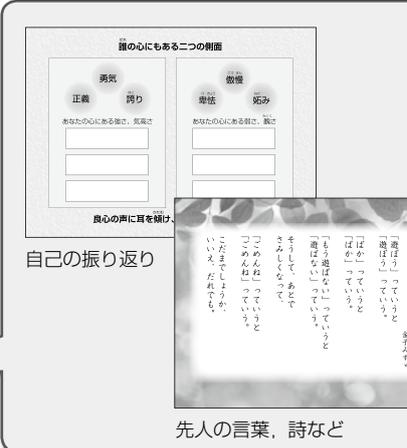
「社会や生活の問題と結びつけながら、思考を深めたい。」

「自分自身の体験や学校生活を振り返りながら考えさせたい。」

こうした先生方の求めに応じて、柔軟に活用できる豊富な資料があります。

別冊だからこそ、イメージする授業の流れに沿って、自由に活用することができるのです。



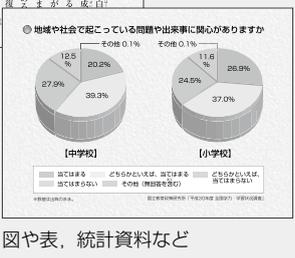


自分の振り返り

先人の逸話など



図や表、統計資料など



2 対照表

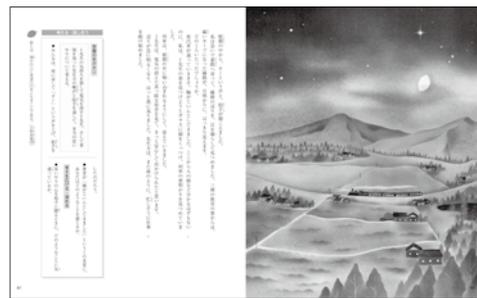
本教科書本冊及び別冊の構成・内容と教育基本法第2条の各号との対照は以下の通りです。第1号に示される「道徳心を培う」については、全内容に該当することから、各々への表示は省略しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	第2条との対応	該当箇所		
本冊④	ショーペンハウアーとニーチェ	本冊の教材や別冊の資料を活用して、真実を探究して新しいものを生み出してきた先人たちの生き方に学んで、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。	第1号	p.148～150		
別冊	真実・真理を求め、新しいものを生み出す			p.5		
本冊④	独りを懐む・thinking ① 日々是好日			p.19～22		
別冊	度を過ぎず、調和のある生活をする			p.2		
本冊①	ぶれない心―松井 秀喜― thinking ②「僕は一歩ずつ階段を上っていくタイプだと思います」	内容項目「向上心、個性の伸長」に関する教材や別冊への記述を通して、自己を見つめ、自らのよさを伸ばしていく意欲や自己肯定感を高められるよう配慮しました。	第2号	p.48～53		
別冊	自己の向上を図り、個性を伸ばす			p.3		
別冊	「中学3年生の私」	年度初めや学期ごとに自己を見つめて、自分の課題や目標と向き合う学習が行えるページを設け、自らの成長を実感しながら、能力の伸長を図ることができるよう工夫しました。	第2号	巻頭		
別冊	心のしおり 自分をのぼそう			巻末		
本冊①	リクエスト	自主及び自律の精神を養う学習を本書の重点の1つとし、内容項目「自主、自律、自由と責任」に関する教材を、全学年3教材、3時間配当しました。	第2号	p.4～9		
本冊④	ピヨ子			p.64～67		
本冊⑥	カントとルソー			p.113～115		
別冊	自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ			p.1		
本冊⑥	てんびんばかり	内容項目「勤労」に関する教材を中心として、キャリア教育に関わる他の教育活動との関連を効果的に図ることができるよう内容と構成に配慮しました。	第2号	p.70～71		
別冊	勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献する			p.15		
本冊⑧	卒業文集最後の二行	「いじめ」や「人権」に関する課題を「公正、公平、社会正義」を中心に取り上げるとともに、年間の他の教育活動との関連を図ることができるよう早い時期に配列した。また折に触れて巻末の特集ページや別冊の資料を活用することで、正義と責任を重んずる態度の育成につながるよう工夫しました。	第3号	p.36～40		
本冊⑨	虹の国―ネルソン・マンデラ―			p.96～101		
本冊	いじめを許さない私たちの心			p.154～155		
別冊	正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる			p.13		
本冊②	スダチの苗木			p.10～13		
本冊⑦	監督がくれたメダル			p.32～35		
本冊⑧	原稿用紙			p.41～43		
本冊⑬	ライバル			p.61～63		
本冊⑰	アイツの進路選択			p.72～77		
本冊⑱	月明かりで見送った夜汽車			p.78～81		
本冊⑲	母と子のロードレース			p.82～87		
本冊⑳	ある元旦のこと			p.116～118		
別冊	思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深める			p.7		
別冊	互いに励まし合い、高め合える友情を育む			p.9		
別冊	家族を愛し、充実した家庭生活を築く			p.16		
別冊	学校を愛し、協力して集団生活を充実させる			p.17		
本冊㉓	招集通知―あなたが裁判員になるとき―			公共の精神に基づいて、社会に積極的に関わっていかうとする姿勢を育む教材を掲載しました。また本冊巻末に「持続可能な社会」とそれに関わる現代的課題を取り上げ、問題の解決に向けて、主体的に社会に参画していく意識を高められるよう工夫しました。	第3号	p.142～147
本冊	持続可能な社会の実現を目指して					p.158～159
別冊	社会と関わり協力し、よりよい社会をつくる					p.14
本冊⑤	誰かのために	生命尊重を本書の重点に位置付け、内容項目「生命の尊さ」に関する教材を全学年3教材、3時間配当し、他の内容項目の学習とも関連付けながら、重点的な指導が図れるよう工夫しました。	第4号	p.24～25		
本冊⑩	ドナー			p.88～90		
本冊⑪	高砂丸とポトマック川のこと			p.134～136		
別冊	生命の尊さを理解し、大切にする			p.22		
本冊⑩	襟裳のこと	内容項目「自然愛護」の教材の学習を通して、自然への愛情や自然に対する畏敬の念、謙虚な心情を育むとともに、現代的な課題である自然環境問題への課題意識を高められるよう、本冊巻末の特集や別冊で補助的に資料を掲載しました。	第4号	p.44～47		
本冊	持続可能な社会の実現を目指して			p.158～159		
別冊	自然の崇高さを知り、自然の愛護に努める			p.23		
本冊⑳	運命の木―姫路城の大柱―	我が国や郷土の伝統や文化に関心を高め、親しみや愛着をもち、この国の一員としての自覚を促す契機になるような教材を選定しました。	第5号	p.128～133		
本冊㉒	千年先のふるさとへ・thinking ③ 希望新聞			p.137～141		
別冊	郷土の伝統や文化を大切に、発展に努める			p.18		
別冊	日本人としての自覚をもち、国の発展に努める			p.19		
本冊㉔	海と空―樫野の人々―	日本人としての自覚をもって、他国を尊重し、国際理解、国際貢献に努めることの大切さを考え、世界の平和を希求する思いを高めることができる教材を掲載しました。	第5号	p.119～123		
別冊	他国を尊重し、世界の平和と発展に寄与する			p.20		

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 紙面構成上の工夫 — 判型、表記、構成・配列等の工夫

- ①判型は本冊、別冊ともに AB 判を採用し、紙面にゆとりをもたせ、圧迫感のない構成を心がけました。見やすさ、読みやすさを重視して、白を基調とした紙面にイラスト配置を工夫し、ワイド判によるビジュアル面の利点を生かしました。
- ②読みやすさを考慮し、本文の文字のサイズ、文字間や行間、本文周囲の余白等、冊子内で原則として統一を図りました。
- ③道徳科の教材は、生徒の読み取りに差異が生じないことが前提と考え、誰もが内容を正確に理解できるよう、配当漢字及び未習の漢字については、ページ初出のみならず、すべてにルビ（ふりがな）を配しました。（読みやすさを考慮し、固有名詞は初出のみルビを配しています。）
- ④今次改訂では、別冊の構成・配列を改め、内容項目ページは各 1 ページとし、授業での学びを記述する「学習の記録」の記入欄を巻末にまとめました。再構成にあたっては、時系列に沿って授業での記述や振り返りができるようにするとともに、授業構想に応じた書く活動の設定およびページ削減による持ち運び（重量）の面の負担軽減につながるよう努めました。



本冊 p.80～81

(2) 情報機器の活用による発展的な学習

当社のホームページでは本冊の教材に関する補助資料として、写真・動画・参考となる外部ページへのリンクを掲載します。これらの資料を活用できる教材については、**インターネット** のマークを記載しています。本冊もくじの QR コードを読み取るか、URL へアクセスすることで、調べ学習をはじめとした発展的な学習を促し、情報活用能力の育成を図ることができます。



本冊 p.44

(3) 一覧で自分自身が見える「心のしおり」

別冊巻末に折り込みとして、「心のしおり」を用意しました。授業の振り返りを行うチェック欄を活用することで、自分にとって心に残った教材が何だったのかが確認できます。また自分の目標や課題を振り返る書き込み欄もあり、学期ごとの区切りなどで活用することを通して、自己の成長を実感することができます。

(4) 環境にやさしい用紙、印刷

印刷には植物油インキを使用し、用紙は再生紙を用いました。なお、本冊は発色のよさ、見やすさを、別冊は鉛筆での書きやすさ、消しやすさを重視し、それぞれの構成内容や使用用途を踏まえた用紙を用いました。

(5) 製本の工夫 — 使いやすさと安全性

別冊は、紙面が開きやすい「中綴じ」製本としました。また、針金は内側に曲げることで安全性の向上を図るとともに、「三か所留め」で十分な強度を確保しました。

(6) 特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応

色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう、色の識別のみによらず、文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮しました。なお、カラーユニバーサルデザインは、専門の第三者機関に検証を依頼し、CUD 認証マークの取得を申請しています。

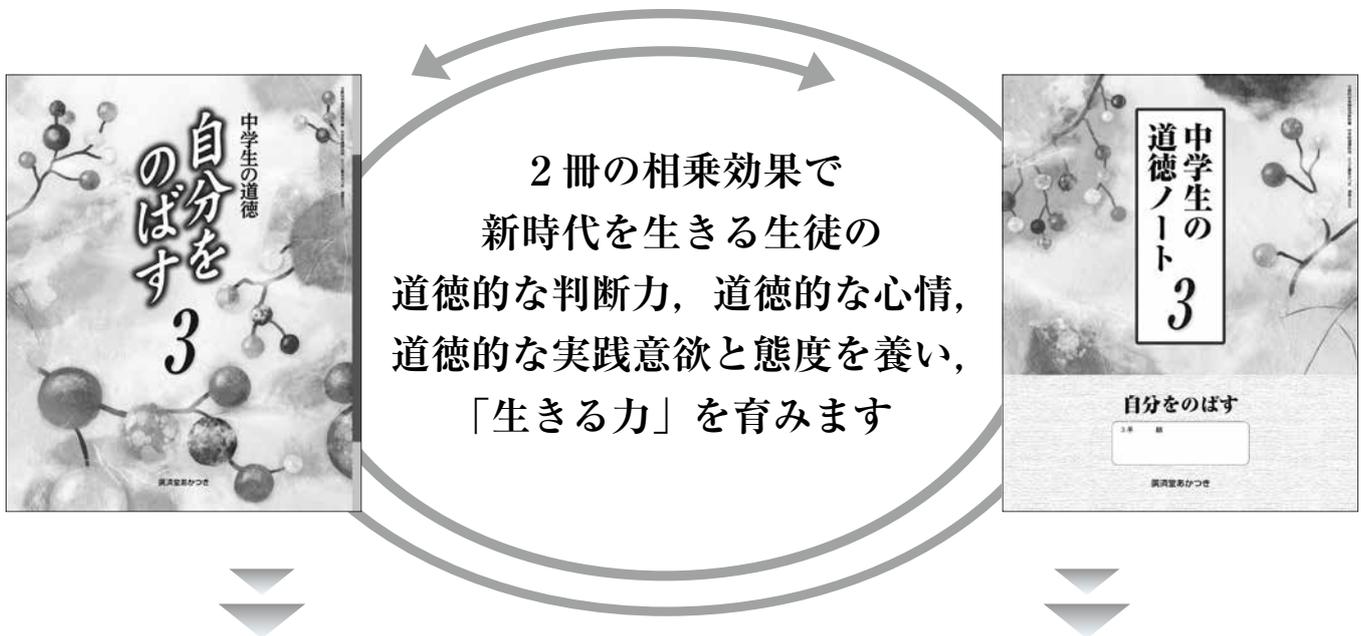
編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31 - 14	中学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 907 道徳 908	中学生の道徳 自分をのぼす3 中学生の道徳ノート 自分をのぼす3		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示される教育の方針, 道徳科の目標を達成するため, 本教科書は以下の点に特に意を用い, 編修しました。



本冊 中学生の道徳

【内容】

- 発達段階に応じた選りすぐりの教材
- 教材別「考える・話し合う」
- 教材別 名言(先人・著名人の言葉)
- その他(特集, 内容項目一覧など)

【特色】 ともに考え, 話し合う

教材をもとに考える主体的・対話的な学習を通して, 多面的・多角的な思考を促し, 人間としての生き方についての考えを深めます。

【主な言語活動】 読む, 話す, 聞く

別冊 中学生の道徳ノート

【内容】

- 内容項目(道徳的諸価値)の解説
- 学習の記録
- 心のしおり(毎時間の振り返りなど)
- その他(特集, 記録欄など)

【特色】 自分を見つめ, 考え, のぼす

書くことを通して自問と自省へと導き, 道徳的思考をいっそう深め, 道徳的諸価値(内容項目)の理解を確かなものにします。

【主な言語活動】 読む, 書く

①重点項目の設定

全体の構成にあたって、特に以下の点に留意して重点項目を設定しました。重点項目は全学年で年間3時間ずつ配当しています。

●学習指導要領の総則「指導内容の重点化」

総則 第6「道徳教育に関する配慮事項」に示された指導内容の重点化との関わりを考慮しました。

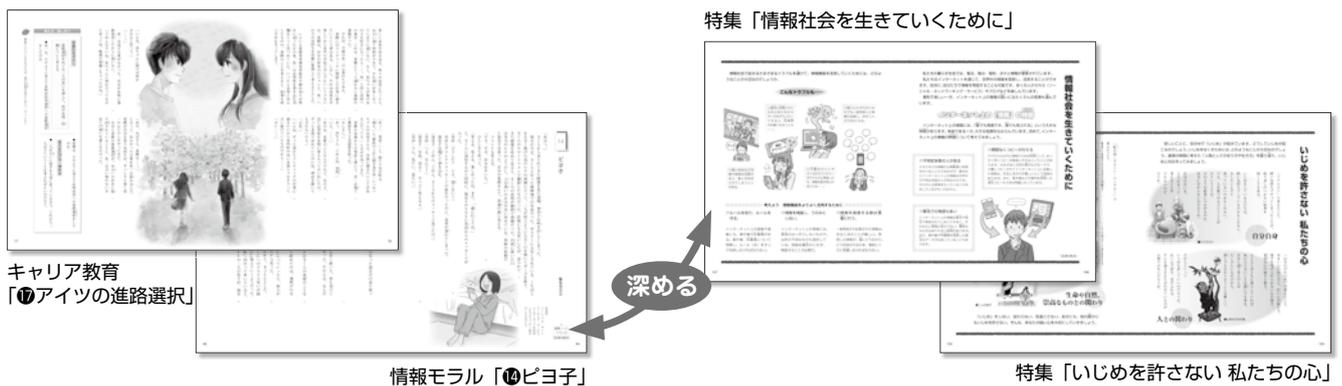
●「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」

生命尊重といじめ防止は最重要課題であるため、特に関わりの深い内容項目の配当時間を考慮しました。

重点項目 (全学年各3時間配当)		教材番号
A	自主, 自律, 自由と責任	①, ⑭, ⑳
B	思いやり, 感謝	⑨, ⑱, ㉓
D	生命の尊さ	⑤, ⑳, ㉑
D	よりよく生きる喜び	⑫, ㉒, ㉔

②現代的な課題や他の教育活動等との関わり

道徳科を要とした道徳教育の充実を図るため、現代的な課題や他の教育活動との関連を図ることのできる教材を選定しました。また多様な指導方法に対応できるよう、問題解決的、体験的な学習活動を促す教材を取りそろえました。なお、いじめ防止についてはさまざまな内容項目の学習を通じて考えることができるよう、本冊全学年の巻末に「いじめを許さない 私たちの心」と題した特集ページを設けました。



現代的な課題や多様な題材, 指導方法に関わる教材

教材の題材・性質	教材番号等
生命の尊厳	⑤, ⑫, ⑱, ⑳, ㉑, ㉒
社会参画	㉔, ㉕
自然	⑩, ㉔
伝統と文化	㉑, thinking①
先人の伝記	㉒, ㉓, ㉔
スポーツ	⑪, ⑱, thinking②
情報モラル	⑭, 巻末特集
その他の現代的な課題	食育=④ / 健康教育=④ / 防災教育=㉔, thinking③ / 福祉に関する教育=⑥, ⑫, ⑮, ㉒ / 法教育=㉑, ㉓ / 国際理解教育=㉒, ㉓, ㉔ / キャリア教育=⑮, ⑰, ㉓ / 生命倫理=⑤, ⑱, ㉒ / 社会の持続可能な発展=⑩, ㉒, 巻末特集
問題解決的な学習を促す教材	③, ④, ⑧, ⑮, ⑭, ⑰, ⑱, ㉒, ㉒, ㉒, ㉒
道徳的行為に関する体験的な学習を促す教材	③, ⑦, ⑮, ⑱, ㉒, ㉒

いじめ防止・人権尊重に関わる教材

教材の題材・性質	教材番号等
いじめ・人権に関わる題材	②, ⑨, ⑭, ㉒
特に関連の深い内容項目	教材番号等
自主, 自律, 自由と責任 【重点】	①, ⑭, ㉒
思いやり, 感謝 【重点】	⑨, ⑱, ㉓
友情, 信頼	⑱, ⑰
相互理解, 寛容	③
公正, 公平, 社会正義	⑧, ㉒
生命の尊さ 【重点】	⑤, ⑳, ㉑
よりよく生きる喜び 【重点】	⑫, ㉒, ㉔
上記内容項目との関連を図った学習	巻末特集

・いじめ防止と特に関連の深い内容項目については配当時間数を増やしています。巻末の特集と合わせて、さまざまな内容項目の学習で、いじめについて考えることができます。

・教材の学びを深める特集 (thinking) を3編設けています。また、巻末には、「いじめ防止」、「情報モラル」、「現代的な課題」について考えるページを特設しました。

第三学年

③主体的・対話的で深い学びのためにー「考える・話し合う」の工夫

生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができるよう、教材ごとに「考える・話し合う」を設けました。

考える・話し合う

学習の手がかり

- ・教材を読んで考えるための「めあて」
- ・教材を読んで、考えるきっかけとなる「問い」

考えを広げる・深める

教材や内容項目についてさらに学習を深める内容

例 主人公以外の視点から多面的・多角的に考える問い
 生徒自身の生き方・在り方に照らして考える問い
 問題解決的な学習、体験的な学習を促す問い など

● 先人や現在活躍している著名人の言葉 (すべての教材に掲載)

学習の流れ





明確な課題をもって学習できる工夫

- 「考える・話し合う」で学習の要点が見える

登場人物の心情の読み取りや生活体験の振り返りに終始するのではなく、「人間としての生き方についての考えを深める」道徳科の学習となるよう、「考える・話し合う」は構成されています。

学習の手がかり に設けた「めあて」は、学年段階と教材のタイプを考慮し、内容項目を明示しているものと、あえてしていないものの2種類があります。いずれも、生徒が教材の中の“道徳上の問題”を明確に捉え、主体的な学習に取り組むことができるよう工夫しました。

内容項目を明示しているめあて

お弁当を作る母の思いと、それを受け止める娘の思いを通して、生命の尊さについて考える。

内容項目をあえて明示していないめあて

一人住まいを始めた筆者がぶつかった「どきんとするこころ」を手がかりに、「独りを畏む」ということについて考える。

道徳科における 主体的・対話的で深い学び

多様な見方・考え方に触れる工夫

- 「決まりきった答え」が出ない問い

学習の手がかり の問いは、分かりきった答えを簡単に出すようなものにはなっていません。人それぞれの考えをもとに、教師や友達、家の人と交流することで、対話的な学習の充実を図ることができます。

- 人物の格言・名言

すべての教材の最後には、先人や現在活躍している著名人の言葉が掲載されています。道徳的価値や人間としての生き方について示唆に富んだ格言や名言に触れることで、自らの見方・考え方を広げる手がかりとなります。

● 愛が花のように香しいのならば、母こそその香しい愛の花だ。(スティービー・ワンダー)

本冊 p.87

思考を広げる、深める工夫

学習を広げる・深める には、各学年段階に応じて充実した学習の手立てとなる問いを設定しました。

- 自己との関わりで考える問い

いじめをなくすためにどのような自分でありたいか。
(8)卒業文集最後の二行)

- 問題解決的な学習を促す問い

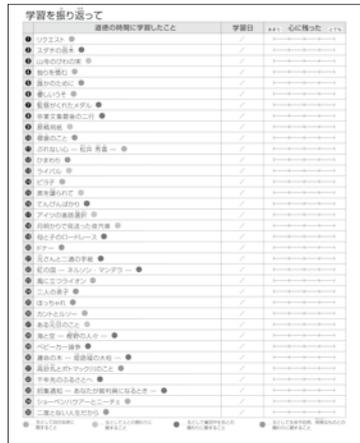
二人が互いに相手を大切に思っているなら、これから二人はどのようなことを考えればよいのだろう。
(17)アイツの進路選択)

- 体験的な学習を促す問い

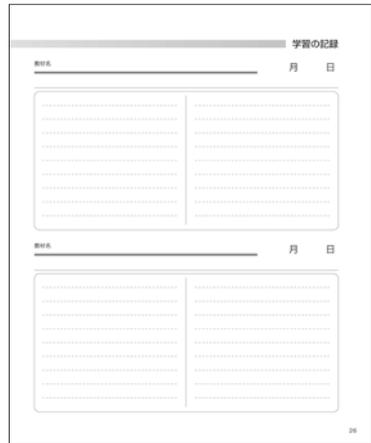
老人や赤ん坊を抱いた人、障がいのある人等に席を譲るとき、どのようなことに心がければよいだろうか。
(15)席を譲られて)

①毎時間の学習状況を記録できる「学習の記録」

心のしおり「学習を振り返って」

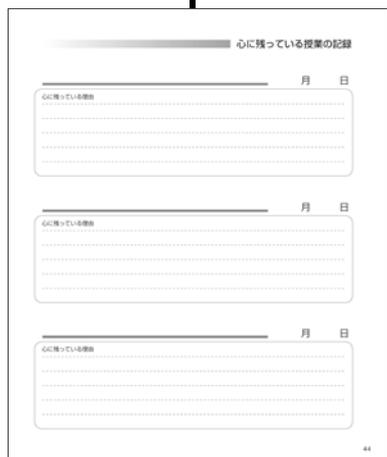


学習の記録



特に深く考えていた授業は……

↑ 該当の授業の「学習の記録」を参照



心に残っている授業の記録

別冊ノートの「学習の記録」ページは年間 35 時間の学びを記入することができます。今次改訂では、記述欄を巻末にまとめ、時系列に沿って記述・振り返りができるようにしました。授業を通して感じたことや考えたことを記録していくことで、生徒の学習状況を見取るたしかな手がかりとなるでしょう。なお、1 時間あたりの記述欄を左右 2 段で構成しているため、記述を促す内容や場面の設定等、授業者の構想に応じて柔軟に活用することができます。

また巻末の「心のしおり」の「学習を振り返って」を活用し、短時間で授業を振り返ることができます。

②「心に残っている授業の記録」を活用した評価の工夫

道徳科で求められている生徒の成長を認め、励ましていく、「大きくくりなまとまりを踏まえた」評価。その手がかりとして活用できるのが、「心に残っている授業の記録」です。学期末や年度末に活用することで、生徒が特に「自己を見つめ」「広い視野から多面的・多角的に」考え、「人間としての生き方についての考えを深め」ていた様子に着目することができます。

- 別冊ノートの記録は評価の際の材料、根拠となります。これは評価の信頼性・妥当性を検討していく組織的・計画的な取り組みにおいても有用です。
- 別冊ノートは家庭との連携を図る際にも効果的に活用でき、保護者とともに生徒の成長を見守り、励ましていくことにつながります。

③自分を見つめ、考え、のぼしていく 1 年間で

別冊ノートには、今の自分を見つめ、課題や目標を捉える学習ができるページを設けています。年度当初や学期の始めに活用することで、生徒が自らのよい点や可能性に気づききっかけとなり、主体的に学ぶ意欲の喚起につながります。

また、折に触れて読み返すことで、自分自身の考えの変化や成長に気づくこともできるでしょう。



中学3年生の私



心のしおり

2 対照表

本教科書本冊・別冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。なお、本表は本冊の配列をもとに示しています。

図書の内容・本冊		学習指導要領の内容	図書の内容・別冊	配当 時数
①	リクエスト p.4～9	自主、自律、自由と責任	自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ p.1,p.6	1
②	スダチの苗木 p.10～13	家族愛、家庭生活の充実	家族を愛し、充実した家庭生活を築く p.16	1
③	山寺のびわの実 p.14～18	相互理解、寛容	互いの立場や考えを尊重し、謙虚に学び合う p.10	1
④	独りを慎む p.19～21	節度、節制	度を過ぎず、調和のある生活をする p.2	1
thinking①	日々是好日 p.22～23	節度、節制	度を過ぎず、調和のある生活をする p.2	
⑤	誰かのために p.24～25	生命の尊さ	生命の尊さを理解し、大切にす p.22	1
⑥	優しいうそ p.26～31	希望と勇氣、克己と強い意志	目標の達成を目指し、着実にやり遂げる p.4	1
⑦	監督がくれたメダル p.32～35	よりよい学校生活、集団生活の充実	学校を愛し、協力して集団生活を充実させる p.17	1
⑧	卒業文集最後の二行 p.36～40	公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる p.13	1
⑨	原稿用紙 p.41～43	思いやり、感謝	思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深める p.7,p.11	1
⑩	襟裳のこと p.44～47	自然愛護	自然の崇高さを知り、自然の愛護に努める p.23	1
⑪	ぶれない心ー松井 秀喜ー p.48～52	向上心、個性の伸長	自己の向上を図り、個性を伸ばす p.3	1
thinking②	「僕は一步步階段を上って いくタイプだと思います」 p.53	向上心、個性の伸長	自己の向上を図り、個性を伸ばす p.3	
⑫	ひまわり p.54～60	よりよく生きる喜び	良心に気づき、よりよく生きる喜びを見出す p.25	1
⑬	ライバル p.61～63	友情、信頼	互いに励まし合い、高め合える友情を育む p.9	1
⑭	ピヨ子 p.64～67	自主、自律、自由と責任	自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ p.1,p.6	1
⑮	席を譲られて p.68～69	礼儀	礼儀の意義を理解し、適切な言動をとる p.8	1
⑯	てんびんばかり p.70～71	勤労	勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献する p.15	1
⑰	アイツの進路選択 p.72～77	友情、信頼	互いに励まし合い、高め合える友情を育む p.9	1
⑱	月明かりで見送った夜汽車 p.78～81	思いやり、感謝	思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深める p.7,p.11	1
⑲	母と子のロードレース p.82～87	家族愛、家庭生活の充実	家族を愛し、充実した家庭生活を築く p.16	1
⑳	ドナー p.88～90	生命の尊さ	生命の尊さを理解し、大切にす p.22	1
㉑	元さんと二通の手紙 p.91～95	遵法精神、公德心	法やまわりを守り、規律ある社会をつくる p.12	1
㉒	虹の国ーネルソン・マンデラー p.96～101	公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる p.13	1
㉓	風に立つライオン p.102～104	希望と勇氣、克己と強い意志	目標の達成を目指し、着実にやり遂げる p.4	1
㉔	二人の弟子 p.105～109	よりよく生きる喜び	良心に気づき、よりよく生きる喜びを見出す p.25	1
㉕	ほっちゃん p.110～112	感動、畏敬の念	人知を超えたものへの感動と畏敬の念を深める p.24	1
㉖	カントとルソー p.113～115	自主、自律、自由と責任	自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ p.1,p.6	1
㉗	ある元旦のこと p.116～118	思いやり、感謝	思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深める p.7,p.11	1
㉘	海と空ー榎野の人々ー p.119～123	国際理解、国際貢献	他国を尊重し、世界の平和と発展に寄与する p.20	1
㉙	ベビーカー論争 p.124～127	遵法精神、公德心	法やまわりを守り、規律ある社会をつくる p.12	1
㉚	運命の木ー姫路城の大柱ー p.128～133	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本人としての自覚をもち、国の発展に努める p.19	1
㉛	高砂丸とポトマック川のこと p.134～136	生命の尊さ	生命の尊さを理解し、大切にす p.22	1
㉜	千年先のふるさとへ p.137～140	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統や文化を大切にし、発展に努める p.18	1
thinking③	希望新聞 p.141	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統や文化を大切にし、発展に努める p.18	
㉝	招集通知ーあなたが裁判員になるときー p.142～147	社会参画、公共の精神	社会と関わり協力し、よりよい社会をつくる p.14,p.21	1
㉞	ショーペンハウアーとニーチェ p.148～150	真理の探究、創造	真実・真理を求め、新しいものを生み出す p.5	1
㉟	二度とない人生だから p.151～153	よりよく生きる喜び	良心に気づき、よりよく生きる喜びを見出す p.25	1
特集	いじめを許さない私たちの心 p.154～155	自主、自律、自由と責任／相互理解、寛容／公正、公平、社会正義／よりよく生きる喜び		下記
特集	情報社会を生きていくために p.156～157	自主、自律、自由と責任／遵法精神、公德心		下記
特集	持続可能な社会の実現を目指して p.158～159	自然愛護／社会参画、公共の精神／国際理解、国際貢献		下記
配当時数合計				35

・本冊「いじめを許さない私たちの心」「情報社会を生きていくために」「持続可能な社会の実現を目指して」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。①～③及び thinking については、最も関連の深い学習指導要領の内容のみを示しています。

・別冊「自律の精神をもって、自主的に」「思いやる心の温かさを感じて」「考えよう 私たちの社会参画」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31 - 14	中学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 907 道徳 908	中学生の道徳 自分をのばす3 中学生の道徳ノート 自分をのばす3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				